

Japanese
The False Church is Satan's Synagogue
TCA-119FAL

偽の教会はサタンの 会堂



ウィリアム・マリオン・ブラハム



Japanese
The False Church is Satan's Synagogue
TCA-119FAL

偽の教会はサタンの 会堂



ウィリアム・マリオン・ブラハム



はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

偽の教会はサタンの会堂

「またユダヤ人だと自称しているが、
実はそうでなく、かえってサタンのシナゴ
グである人たちから、ののしられているこ
とも知っている。」

(黙示録 2:9b)

これは考えさせられることばです。とても衝撃的な
内容ですし、一千年後の時代にも同じことが繰返され
ているからです。

27

「わたしはあなたの苦しみと貧しさと
を知っている。@@しかしあなたは実際
は富んでいる。またユダヤ人だと自称し
ているが、実はそうでなく、かえってサタ
ンのシナゴグである人たちから、ののしら
れていることも知っている。」

(黙示録 2:9)

まずここで使われているユダヤ人という言葉です

偽の教会はサタンの会堂

「またユダヤ人だと自称しているが、
実はそうでなく、かえってサタンのシナゴ
グである人たちから、ののしられているこ
とも知っている。」

(黙示録 2:9b)

これは考えさせられることばです。とても衝撃的な
内容ですし、一千年後の時代にも同じことが繰返され
ているからです。

27

「わたしはあなたの苦しみと貧しさと
を知っている。@@しかしあなたは実際
は富んでいる。またユダヤ人だと自称し
ているが、実はそうでなく、かえってサタ
ンのシナゴグである人たちから、ののしら
れていることも知っている。」

(黙示録 2:9)

まずここで使われているユダヤ人という言葉です

が、ユダヤ教の信者のことではなく、ユダヤ地方に住んでいる人々を指しています。それは例えば、わたしがアイルランド出身であるというのと同じことです。その人々は自分たちを正真正銘のユダヤ人だと言っていました。が、偽りでした。彼らは生まれつきのユダヤ人でもなければ、ユダヤ教の信者でもなかったのです。それなら、彼らは何者だったのでしょうか？ 彼らは騙されていることに気づかずに、教会に属していた人々でした。偽のぶどうの木に属していた人たちでした。

神が「彼らはサタンのシナゴグである人たちだ」と語っているので、彼らは真の教会ではなく、偽の教会の人たちでした。ここでいうシナゴグは、教会とは別の意味です。聖書によれば、教会とは「選別された人たち」あるいは、

「召集された人たち」です。選ばれた人たちについて、詩篇では、「幸いなことよ。あなたが選び、近寄せられた人、あなたの大庭に住むその人は。」

(詩篇 65:4)

と詠っています。それに対し、シナゴグは「集い、集會」という意味です。良くも悪くもとれますが、この場合

が、ユダヤ教の信者のことではなく、ユダヤ地方に住んでいる人々を指しています。それは例えば、わたしがアイルランド出身であるというのと同じことです。その人々は自分たちを正真正銘のユダヤ人だと言っていました。が、偽りでした。彼らは生まれつきのユダヤ人でもなければ、ユダヤ教の信者でもなかったのです。それなら、彼らは何者だったのでしょうか？ 彼らは騙されていることに気づかずに、教会に属していた人々でした。偽のぶどうの木に属していた人たちでした。

神が「彼らはサタンのシナゴグである人たちだ」と語っているので、彼らは真の教会ではなく、偽の教会の人たちでした。ここでいうシナゴグは、教会とは別の意味です。聖書によれば、教会とは「選別された人たち」あるいは、

「召集された人たち」です。選ばれた人たちについて、詩篇では、「幸いなことよ。あなたが選び、近寄せられた人、あなたの大庭に住むその人は。」

(詩篇 65:4)

と詠っています。それに対し、シナゴグは「集い、集會」という意味です。良くも悪くもとれますが、この場合

でもついて行くからです。

は悪い方です。彼らは神のためでなく自分たちのために集っていたからです。イザヤは言っています、

「見よ。集いあつまる者があっても、それはわたしから出た者ではない。あなたに逆らい集う者は、あなたによって倒される。」

(イザヤ 54:15)

彼らは真のぶどうの木に逆らって集っていたのですから、いつの日か神に滅ぼされることでしょう。

ではなぜ教会の中に、自らをユダヤ人と名乗る人たちが紛れ込んだのでしょうか。理由は、彼らが嘘つきであり、良心のとがめも感じずに偽称することができたからです。事実でないことを事実として語り、その嘘に固執しました。この場合、心の中で嘘を念じてしまったのかもしれませんが。初期教会はほとんどユダヤ人で構成されていました。十二弟子はみなユダヤ人で、後の使徒たちもユダヤ人か改宗者たちでした。ですから、自らをユダヤ人だと宣言すると箔がつきますし、正統性を主張できたのです。嘘について、その嘘に固執する。事実や歴史から目をそらす。あたかも事実であるかのごとく一つのことを主張し続ければ、人々は信じ込んでいくも

でもついて行くからです。

は悪い方です。彼らは神のためでなく自分たちのために集っていたからです。イザヤは言っています、

「見よ。集いあつまる者があっても、それはわたしから出た者ではない。あなたに逆らい集う者は、あなたによって倒される。」

(イザヤ 54:15)

彼らは真のぶどうの木に逆らって集っていたのですから、いつの日か神に滅ぼされることでしょう。

ではなぜ教会の中に、自らをユダヤ人と名乗る人たちが紛れ込んだのでしょうか。理由は、彼らが嘘つきであり、良心のとがめも感じずに偽称することができたからです。事実でないことを事実として語り、その嘘に固執しました。この場合、心の中で嘘を念じてしまったのかもしれませんが。初期教会はほとんどユダヤ人で構成されていました。十二弟子はみなユダヤ人で、後の使徒たちもユダヤ人か改宗者たちでした。ですから、自らをユダヤ人だと宣言すると箔がつきますし、正統性を主張できたのです。嘘について、その嘘に固執する。事実や歴史から目をそらす。あたかも事実であるかのごとく一つのことを主張し続ければ、人々は信じ込んでいくも

のなのです。

さて、何かお気づきになりましたか？ こんにちの教会にも同じ霊が働いていないでしょうか。自分たちが正統な真の教会であり、救いは自分たちの教会を通してのみ与えられると主張するグループがありませんか？ 自分たちは天国の鍵を与えられていて、それはペトロから継承した。ペトロは初代教皇であり、彼はローマに住んでいたなどと、ありもしないことを歴史的事実のように主張しているグループが。最高教育を受け、知識のある者でさえ、その教会の嘘を信じています。まさにサタンのシナゴグです。もしサタンがその教会の父であるなら、彼はあらゆる嘘の生みの親ですから、サタンのシナゴグに集うものたちが嘘つきであっても当然なのです。

冒瀆について考えてみましょう。サタンのシナゴグの会衆は神をではなく、真の教会をののしっていました(ですから必然的に神をののしたことになりますが)。カインがアベルをいじめ殺害したのは、カインが邪悪な子で

あったからです。また、儀式に凝りかたまり形骸化したユダヤ教信者は(イエスは、「あなたたちの父親は悪魔だ」と言いました)、キリスト教誕生初期の数年間、

のなのです。

さて、何かお気づきになりましたか？ こんにちの教会にも同じ霊が働いていないでしょうか。自分たちが正統な真の教会であり、救いは自分たちの教会を通してのみ与えられると主張するグループがありませんか？ 自分たちは天国の鍵を与えられていて、それはペトロから継承した。ペトロは初代教皇であり、彼はローマに住んでいたなどと、ありもしないことを歴史的事実のように主張しているグループが。最高教育を受け、知識のある者でさえ、その教会の嘘を信じています。まさにサタンのシナゴグです。もしサタンがその教会の父であるなら、彼はあらゆる嘘の生みの親ですから、サタンのシナゴグに集うものたちが嘘つきであっても当然なのです。

冒瀆について考えてみましょう。サタンのシナゴグの会衆は神をではなく、真の教会をののしっていました(ですから必然的に神をののしたことになりますが)。カインがアベルをいじめ殺害したのは、カインが邪悪な子で

あったからです。また、儀式に凝りかたまり形骸化したユダヤ教信者は(イエスは、「あなたたちの父親は悪魔だ」と言いました)、キリスト教誕生初期の数年間、

戻ってきて、教会の中を歩き、信徒らを力づけました。またもう一度、イエホヴァは来られました。今度は信徒のうちに宿っておられます。そしてかつてのように病気を癒し、死人を生き返らせ、霊によってご自身を明らかにしておられます。イエホヴァは戻って来られ、異言を語り、異言の解釈を与えておられます。

イエホヴァは戻ってこれれ、再び罪を犯さないように売春婦を励ましました。意識を失って排水口に寝ている汚れた呑みだくれのもとにも戻ってこられました。そうです、イエホヴァは肉体をもって現れ、また、肉体を通してご自身を現されます。イエホヴァは来られました。神がわたしたちのうちにおられる、これこそ栄光の希望です。

イエスは来られ、ご自分の血を流され、囚われ人を自由にしました。来て、失われていた羊を贖われたのです。永遠のいのちを与えてくださったので、信徒は消滅しません。イエスは彼らのうちの誰も失うことなく、終わりの日に復活させていただきます。ハレルヤ、第二の死が彼らに害を及ぼすことはありません。

第二の死は彼らにとって何の意味もないのです。彼らが子羊のものであり、子羊が行くところにはどこに

戻ってきて、教会の中を歩き、信徒らを力づけました。またもう一度、イエホヴァは来られました。今度は信徒のうちに宿っておられます。そしてかつてのように病気を癒し、死人を生き返らせ、霊によってご自身を明らかにしておられます。イエホヴァは戻って来られ、異言を語り、異言の解釈を与えておられます。

イエホヴァは戻ってこれれ、再び罪を犯さないように売春婦を励ましました。意識を失って排水口に寝ている汚れた呑みだくれのもとにも戻ってこられました。そうです、イエホヴァは肉体をもって現れ、また、肉体を通してご自身を現されます。イエホヴァは来られました。神がわたしたちのうちにおられる、これこそ栄光の希望です。

イエスは来られ、ご自分の血を流され、囚われ人を自由にしました。来て、失われていた羊を贖われたのです。永遠のいのちを与えてくださったので、信徒は消滅しません。イエスは彼らのうちの誰も失うことなく、終わりの日に復活させていただきます。ハレルヤ、第二の死が彼らに害を及ぼすことはありません。

第二の死は彼らにとって何の意味もないのです。彼らが子羊のものであり、子羊が行くところにはどこに

て遊びました。イエホヴァは大工小屋で働きました。イエホヴァは漁師の足を洗いました。

「あなたがたにしろしを与えます、」神は言われました。「それは月給取りの祭司のしろしではありません。富や力のしろしでもありません。このしろしをあなたは欲しないし、適してもいないと思うでしょう。しかしこれが永遠のしろしなのです。最高のしろしなのです。」イエホヴァが法廷の中庭で鞭打たれ、いばらの棘により額から血を流しています。顔に唾をかけられ、嘲られ、軽蔑されています。軽蔑され、見捨てられ、裸にされて十字架にかかっています。偽善者から、十字架から降りてこいと野次られています。イエホヴァが死にかけています。イエホヴァが祈っていますが何も起こっていません。そしてイエホヴァが息をひきとりました。これが今、すべての人に与えられているしろしです。他にしろしはありません。これは偉大なしろしです。

それから闇が地上を覆いました。墓に葬られ、三日三晩墓にとどめ置かれていましたが、突然地震が起きて闇が払拭され、彼は起き上がりました。イエホヴァは復活しました。イエホヴァは天に挙げられました。それからイエホヴァは戻ってきて教会に宿りました。イエホヴァは激しい風と炎を携えて戻ってきました。イエホヴァは

て遊びました。イエホヴァは大工小屋で働きました。イエホヴァは漁師の足を洗いました。

「あなたがたにしろしを与えます、」神は言われました。「それは月給取りの祭司のしろしではありません。富や力のしろしでもありません。このしろしをあなたは欲しないし、適してもいないと思うでしょう。しかしこれが永遠のしろしなのです。最高のしろしなのです。」イエホヴァが法廷の中庭で鞭打たれ、いばらの棘により額から血を流しています。顔に唾をかけられ、嘲られ、軽蔑されています。軽蔑され、見捨てられ、裸にされて十字架にかかっています。偽善者から、十字架から降りてこいと野次られています。イエホヴァが死にかけています。イエホヴァが祈っていますが何も起こっていません。そしてイエホヴァが息をひきとりました。これが今、すべての人に与えられているしろしです。他にしろしはありません。これは偉大なしろしです。

それから闇が地上を覆いました。墓に葬られ、三日三晩墓にとどめ置かれていましたが、突然地震が起きて闇が払拭され、彼は起き上がりました。イエホヴァは復活しました。イエホヴァは天に挙げられました。それからイエホヴァは戻ってきて教会に宿りました。イエホヴァは激しい風と炎を携えて戻ってきました。イエホヴァは

キリスト信者の撲滅を図りました。そしてこの時代、偽のぶどうの木は、真のキリスト信者を滅ぼそうと圧力を強めています。反キリストの霊は勢力を増してきています。

このグループはゆっくり着実に教会の中に入り込み、ニコライ派という既成事実を作り上げました。もはや隠れることなく堂々と、集会においてグループの組織化を図り、真の教会に対する敵意を露わにし始めました。

これが組織化された反キリストの教会であることは、歴史的事実に基づいています。ローマで創設された初めの教会は(参照:ペルガモ時代の章)すでに神の真理から外れていました。というのは、教会に異教徒の信仰を持ち込み、それをキリストの信仰とすり替えていましたから。彼らは自分たちを真の教会と称していましたが、すでにスミルナの時代はかなり異教化されていました。ポリュカルポスは、教会にもとの教えに戻るよう嘆願するために老齢の身ながら 1500 マイルも旅しましたが、徒労に終わりました。彼らは堅固な階級組織を作り上げ、完全にみことばから離れていきました。これがサタンのシナゴグ、冒涇の温床です。すでにニコライ派の教義が芽生えようとしています。そして間もなくサタンの王座、サタン宗教の力が台頭してくることになる

キリスト信者の撲滅を図りました。そしてこの時代、偽のぶどうの木は、真のキリスト信者を滅ぼそうと圧力を強めています。反キリストの霊は勢力を増してきています。

このグループはゆっくり着実に教会の中に入り込み、ニコライ派という既成事実を作り上げました。もはや隠れることなく堂々と、集会においてグループの組織化を図り、真の教会に対する敵意を露わにし始めました。

これが組織化された反キリストの教会であることは、歴史的事実に基づいています。ローマで創設された初めの教会は(参照:ペルガモ時代の章)すでに神の真理から外れていました。というのは、教会に異教徒の信仰を持ち込み、それをキリストの信仰とすり替えていましたから。彼らは自分たちを真の教会と称していましたが、すでにスミルナの時代はかなり異教化されていました。ポリュカルポスは、教会にもとの教えに戻るよう嘆願するために老齢の身ながら 1500 マイルも旅しましたが、徒労に終わりました。彼らは堅固な階級組織を作り上げ、完全にみことばから離れていきました。これがサタンのシナゴグ、冒涇の温床です。すでにニコライ派の教義が芽生えようとしています。そして間もなくサタンの王座、サタン宗教の力が台頭してくることになる

のです。黙示録2章9節には、彼らは「サタンのシナゴグに属している」とは書かれていません。はっきりと「彼らはサタンのシナゴグである」と書かれているのです。

この反キリストの霊は新しいものではありません。教会時代に突然現れたのではなく、ずっと以前から存在していました。この霊が何をするか、どのように神に反対して教会に入り込むのかを、旧約聖書の例をとって見ていきましょう。イスラエルがエジプトを脱して、荒野で教会となった時、この霊がどのように現れたかを調べます。

初代教会は、純粹に聖霊の働きによって生まれ、しるしや不思議、預言、異言、解釈、知恵、知識、癒しが盛んに行われていました。同様に、イスラエルもエジプトから脱出した時、神の霊の導きに従っていました。神が民の指導者でした。実際のところ神は王、父なる王でした。人間の父親が家族を守るようにイスラエルを守っていました。養い、戦いに勝たせ、困難を解消し、問題を解決させました。神ご自身が骨折りをしてくださったのです。イスラエルは唯一、真実の神を神とする民族でした。しかし、ある時彼らはペリシテや周りの国が王を君臨させているのに目を留めました。そして彼らも人間の指導者が欲しくなり、王を要求しました。神にはご計画

のです。黙示録2章9節には、彼らは「サタンのシナゴグに属している」とは書かれていません。はっきりと「彼らはサタンのシナゴグである」と書かれているのです。

この反キリストの霊は新しいものではありません。教会時代に突然現れたのではなく、ずっと以前から存在していました。この霊が何をするか、どのように神に反対して教会に入り込むのかを、旧約聖書の例をとって見ていきましょう。イスラエルがエジプトを脱して、荒野で教会となった時、この霊がどのように現れたかを調べます。

初代教会は、純粹に聖霊の働きによって生まれ、しるしや不思議、預言、異言、解釈、知恵、知識、癒しが盛んに行われていました。同様に、イスラエルもエジプトから脱出した時、神の霊の導きに従っていました。神が民の指導者でした。実際のところ神は王、父なる王でした。人間の父親が家族を守るようにイスラエルを守っていました。養い、戦いに勝たせ、困難を解消し、問題を解決させました。神ご自身が骨折りをしてくださったのです。イスラエルは唯一、真実の神を神とする民族でした。しかし、ある時彼らはペリシテや周りの国が王を君臨させているのに目を留めました。そして彼らも人間の指導者が欲しくなり、王を要求しました。神にはご計画

をもたらすために来られました。聖霊がマリアに臨んだとき、彼女の子宮内に細胞が創造され、それが細胞分裂して主の体が出来上がりました。その細胞は創造されたものです。それは神の創造の最初のものでした。それがイエスです。その聖なるお方に聖なる血が、神の血が与えられました。そして生まれて、おとなになり、ヨルダンにおもむき、ヨハネによってヨルダン川で洗礼を受けました。いけにえは水で清められなければならないからです。水から上がると、神がイエスに留まりました。彼は際限なく豊かに神の霊を受けました。イエスが死んで、血が流されると、神の完全ないのちは自由になって、キリストを救い主として受け入れる罪びとの上に戻ってくるようになりました。

なんと衝撃的な事実でしょう。イエホヴァは、肥やしの山で産声をあげました。イエホヴァは馬小屋の藁の上で生まれました。自尊心が高く、得意になっている見せかけの教養人たちよ、自分の神学を展開して神の真理を否定する者たちよ!これがあなたがたに与えられている永遠のしるしです。神なるイエホヴァは臭い馬小屋の中で赤子として泣いていました。それなら得意になって、鼻をつまんで非難し、自分の方が偉いと言えるかもしれませぬ。しかしこれが、あなたがたへの本当のしるしです。正しいしるしです。イエホヴァは、幼児になっ

をもたらすために来られました。聖霊がマリアに臨んだとき、彼女の子宮内に細胞が創造され、それが細胞分裂して主の体が出来上がりました。その細胞は創造されたものです。それは神の創造の最初のものでした。それがイエスです。その聖なるお方に聖なる血が、神の血が与えられました。そして生まれて、おとなになり、ヨルダンにおもむき、ヨハネによってヨルダン川で洗礼を受けました。いけにえは水で清められなければならないからです。水から上がると、神がイエスに留まりました。彼は際限なく豊かに神の霊を受けました。イエスが死んで、血が流されると、神の完全ないのちは自由になって、キリストを救い主として受け入れる罪びとの上に戻ってくるようになりました。

なんと衝撃的な事実でしょう。イエホヴァは、肥やしの山で産声をあげました。イエホヴァは馬小屋の藁の上で生まれました。自尊心が高く、得意になっている見せかけの教養人たちよ、自分の神学を展開して神の真理を否定する者たちよ!これがあなたがたに与えられている永遠のしるしです。神なるイエホヴァは臭い馬小屋の中で赤子として泣いていました。それなら得意になって、鼻をつまんで非難し、自分の方が偉いと言えるかもしれませぬ。しかしこれが、あなたがたへの本当のしるしです。正しいしるしです。イエホヴァは、幼児になっ

罪のいけにえとなられました。その血は神の血です。まさにそのとおりです。神の血が流され、苦しみながら死んだ彼のもとから霊が離れました。それから、そのおなじいのち(霊)が戻ってきて悔い改める罪びとのうちに留まり、罪びとを自由にしました。罪びとは毎年犠牲を捧げるために戻ってこなくていいのです。その必要がないのです。最初で最後の、一度だけの犠牲で、罪の支配から解放され、キリストのいのちを受けたのです。だから彼は、罪とこの世と肉と悪魔に打ち勝って支配する側に立ったのです。これがわたしたちの救いのために起こったことです。

神は成し遂げられました。神がすべてを成し遂げられました。神は罪の呪いの中にある世界に向かって叫びました、「わたしはあなたたちに一つのしるしを与える。処女が子を持つだろう。処女がみごもり、男の子を産む。それがしるしである。それは永遠のしるしになる。彼女が産む子はインマヌエルと唱えられる。神が共におられるからである。」

神はひとつの血球の中に降りてこられました。人の手によるのではなく、聖霊によってです。処女の子宮に、死ぬために来られた方の幕屋が建てられました。女の子孫(創世記 3:15)は、打たれて、わたしたちに救い

罪のいけにえとなられました。その血は神の血です。まさにそのとおりです。神の血が流され、苦しみながら死んだ彼のもとから霊が離れました。それから、そのおなじいのち(霊)が戻ってきて悔い改める罪びとのうちに留まり、罪びとを自由にしました。罪びとは毎年犠牲を捧げるために戻ってこなくていいのです。その必要がないのです。最初で最後の、一度だけの犠牲で、罪の支配から解放され、キリストのいのちを受けたのです。だから彼は、罪とこの世と肉と悪魔に打ち勝って支配する側に立ったのです。これがわたしたちの救いのために起こったことです。

神は成し遂げられました。神がすべてを成し遂げられました。神は罪の呪いの中にある世界に向かって叫びました、「わたしはあなたたちに一つのしるしを与える。処女が子を持つだろう。処女がみごもり、男の子を産む。それがしるしである。それは永遠のしるしになる。彼女が産む子はインマヌエルと唱えられる。神が共におられるからである。」

神はひとつの血球の中に降りてこられました。人の手によるのではなく、聖霊によってです。処女の子宮に、死ぬために来られた方の幕屋が建てられました。女の子孫(創世記 3:15)は、打たれて、わたしたちに救い

があり、のちに神ご自身がひととなり、主イエス・キリストとして君臨することになるのですが、民は神の先回りをしたのです。サタンは神のご計画を知っていて、民の心をそそのかし、神の(みことばの)先回りをさせたのでした。

王を要求して人々が押しかけてきたとき、サムエルは落胆し、心がつぶれそうでした。神はご自分の民を導く者として、彼を聖別し、みことばに裏打ちされた預言者としてきました。今彼は、自分が拒否されたのだと感じていました。サムエルは民に呼びかけて、神こそが、あなたたちを子どものように世話し、繁栄させ、祝福してくださっているのに、その神に背を向けるようなことをするなど嘆願しました。しかし、彼らは主張しました。「サムエルよ、あなたはいつも正しい指導者であった。あなたは金銭のことについても潔癖であり、我々が罪を犯さないように主のことばを取り次いでくれた。あなたのおかげで神の奇跡、知恵、守りを受けてこられたと信じて感謝している。今後もこれらの祝福を期待している。ただ、戦いの指導者として王を立ててほしいのだ。もちろん、戦いに出て行くときには、祭司を先頭に立て、ユダ族が続き、角笛を吹き鳴らして叫び、歌うつもりだ。従来戦いの仕方をやめるつもりはない。しかし我々の中から王を立てて、指導者としてほしいのだ。」

があり、のちに神ご自身がひととなり、主イエス・キリストとして君臨することになるのですが、民は神の先回りをしたのです。サタンは神のご計画を知っていて、民の心をそそのかし、神の(みことばの)先回りをさせたのでした。

王を要求して人々が押しかけてきたとき、サムエルは落胆し、心がつぶれそうでした。神はご自分の民を導く者として、彼を聖別し、みことばに裏打ちされた預言者としてきました。今彼は、自分が拒否されたのだと感じていました。サムエルは民に呼びかけて、神こそが、あなたたちを子どものように世話し、繁栄させ、祝福してくださっているのに、その神に背を向けるようなことをするなど嘆願しました。しかし、彼らは主張しました。「サムエルよ、あなたはいつも正しい指導者であった。あなたは金銭のことについても潔癖であり、我々が罪を犯さないように主のことばを取り次いでくれた。あなたのおかげで神の奇跡、知恵、守りを受けてこられたと信じて感謝している。今後もこれらの祝福を期待している。ただ、戦いの指導者として王を立ててほしいのだ。もちろん、戦いに出て行くときには、祭司を先頭に立て、ユダ族が続き、角笛を吹き鳴らして叫び、歌うつもりだ。従来戦いの仕方をやめるつもりはない。しかし我々の中から王を立てて、指導者としてほしいのだ。」

神はサムエルに言われました、「彼らはあなたを拒否しているわけではない。わたしが 彼らの上に王として君臨するのを拒否しているのだ。」

悲しいことに、彼らは気づいていなかったのです。他の国と同じように振る舞いたいと願うことが神を拒絶していることを。神の民は、他の国々とは別のものとして定められています。彼らはこの世に属しておらず、この世に似ておらず、この世のように生きていません。彼らはこの世に対して死んだものであり、この世も彼らにとって死んでいるのです。

「それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ。と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなた方を受け入れ、わたしはあなた方の父となり、あなた方はわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。」

(第2コリント 6:17-18)

イスラエルと他の国々との違いはただ一つ、真実の神の存在でした。神を離れたら、イスラエルは他の国と変わりはありません。髪を切り落としたサムソンは、た

神はサムエルに言われました、「彼らはあなたを拒否しているわけではない。わたしが 彼らの上に王として君臨するのを拒否しているのだ。」

悲しいことに、彼らは気づいていなかったのです。他の国と同じように振る舞いたいと願うことが神を拒絶していることを。神の民は、他の国々とは別のものとして定められています。彼らはこの世に属しておらず、この世に似ておらず、この世のように生きていません。彼らはこの世に対して死んだものであり、この世も彼らにとって死んでいるのです。

「それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ。と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなた方を受け入れ、わたしはあなた方の父となり、あなた方はわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。」

(第2コリント 6:17-18)

イスラエルと他の国々との違いはただ一つ、真実の神の存在でした。神を離れたら、イスラエルは他の国と変わりはありません。髪を切り落としたサムソンは、た

しかし、新約時代はそうではありません。わたしたちに与えられた子羊は神の御子であり、その血は多くの者のための身代金として流されました。信仰によって、わたしたちは御前に進み出て、その子羊に手を置きます。その子羊の血だらけの体と裂傷だらけの背中を見、鋭いとげによって裂かれた額を見、その痛みを感じ、叫びを聞き取ります、「我が神よ、我が神よ、どうしてわたしを見捨てられるのですか!?!」。すると、何が起こるでしょう。破壊された血球から離れていったいのちが、悔い改める者の上に帰ってくるのです。御子のうちにあったいのちが、わたしたちの上に帰ってくるのです。わたしたちはもはや、再び罪を犯すことを望みません。肉の行いや欲望を嫌悪するようになります。

わたしたちの生命とは、いったい何でしょう? 父親から受け継いだたった一つの細胞にすぎません。女性にはヘモグロビンがありませんから、卵子を提供して培養器となるのが女性です。血は男性が提供します。だから女性は男性方の苗字を名乗るのです。子どもも父方の苗字をとります。母親は子を胎内で培養し産むのです。

聖霊がマリアに臨み、彼女は御子を産み、イエスと名付けました。偉大な創造主が、降臨し、わたしたちの

しかし、新約時代はそうではありません。わたしたちに与えられた子羊は神の御子であり、その血は多くの者のための身代金として流されました。信仰によって、わたしたちは御前に進み出て、その子羊に手を置きます。その子羊の血だらけの体と裂傷だらけの背中を見、鋭いとげによって裂かれた額を見、その痛みを感じ、叫びを聞き取ります、「我が神よ、我が神よ、どうしてわたしを見捨てられるのですか!?!」。すると、何が起こるでしょう。破壊された血球から離れていったいのちが、悔い改める者の上に帰ってくるのです。御子のうちにあったいのちが、わたしたちの上に帰ってくるのです。わたしたちはもはや、再び罪を犯すことを望みません。肉の行いや欲望を嫌悪するようになります。

わたしたちの生命とは、いったい何でしょう? 父親から受け継いだたった一つの細胞にすぎません。女性にはヘモグロビンがありませんから、卵子を提供して培養器となるのが女性です。血は男性が提供します。だから女性は男性方の苗字を名乗るのです。子どもも父方の苗字をとります。母親は子を胎内で培養し産むのです。

聖霊がマリアに臨み、彼女は御子を産み、イエスと名付けました。偉大な創造主が、降臨し、わたしたちの

神は地を見下ろして宣言されました、「罪を犯す魂は死ななければならない。彼はわたしから切り離されている。わたしに近づくことはできない」。ひとり残らず誰もが罪を犯し、神の栄光に預かる資格を失いましたから、誰もが皆死んで、神から切り離されたこととなります。そしていつか最後の命も死に絶え、すべての終焉が訪れることになってしまいます。しかし、愛の神によって、動物の命が、罪びとの命と引き換えにされました。

エホバは肉体を取って現われた

旧約時代には、罪びとは子羊を引いてきました。罪びとが子羊の上に手を置くと、祭司は子羊の喉を切り裂きました。罪びとは子羊の血がとくとくと流れるのをその手で感じ、哀れな鳴き声を聞きました。彼は死んで硬くなっていく羊の体を感じ、ふりかけられた血の煙が神のもとに昇っていくのを見て、子羊が身代わりになってくれたことを自覚しました。子羊の生命が、自分の罪のために失われたことを知ったのです。しかし子羊の命は動物の命であって、いつまでも罪びとを清めることはできませんでした。ですから罪びとはまた同じ罪を繰り返しました。心に罪を抱いて出て行き、次の年また罪の犠牲を捧げるために戻ってきました。

神は地を見下ろして宣言されました、「罪を犯す魂は死ななければならない。彼はわたしから切り離されている。わたしに近づくことはできない」。ひとり残らず誰もが罪を犯し、神の栄光に預かる資格を失いましたから、誰もが皆死んで、神から切り離されたこととなります。そしていつか最後の命も死に絶え、すべての終焉が訪れることになってしまいます。しかし、愛の神によって、動物の命が、罪びとの命と引き換えにされました。

エホバは肉体を取って現われた

旧約時代には、罪びとは子羊を引いてきました。罪びとが子羊の上に手を置くと、祭司は子羊の喉を切り裂きました。罪びとは子羊の血がとくとくと流れるのをその手で感じ、哀れな鳴き声を聞きました。彼は死んで硬くなっていく羊の体を感じ、ふりかけられた血の煙が神のもとに昇っていくのを見て、子羊が身代わりになってくれたことを自覚しました。子羊の生命が、自分の罪のために失われたことを知ったのです。しかし子羊の命は動物の命であって、いつまでも罪びとを清めることはできませんでした。ですから罪びとはまた同じ罪を繰り返しました。心に罪を抱いて出て行き、次の年また罪の犠牲を捧げるために戻ってきました。

だの人になってしまいました。同様に、教会が聖霊の導きから離れたなら、神の名を称しているただの世俗集団です。ヤコブとエサウが両親を同じくしているように、この世も教会も同じ穴のむじなです。ただ神の霊が働かれるなら、まったく別ものとなるのです。

誰でも望めば自分をクリスチャンと言うことができます。しかし神の霊が宿っている人だけがクリスチャンなのです。神の霊なしにクリスチャンと称する人は、神に見放されたもの。その人は神のものではありません。アーメン

ハイブリッド宗教

この前、ある女性にクリスチャンかと尋ねたところ、「わかっていただけますでしょうか？わたしは毎晩キャンドルを灯していますのよ。」と、答えが返ってきました。それがクリスチャンと何の関係があるのでしょうか！？わたしはメソジスト、わたしはバプテスト、わたしはペンテコステ……それらはクリスチャンと全く関係ありません。聖霊と関係のない人は滅びます。

すでにエフェソの教会時代から、人々は教会をいかにして「よりよく」できるか考え始めました。そこでニコライ派が行動を開始し、グループを形成しました。彼ら

だの人になってしまいました。同様に、教会が聖霊の導きから離れたなら、神の名を称しているただの世俗集団です。ヤコブとエサウが両親を同じくしているように、この世も教会も同じ穴のむじなです。ただ神の霊が働かれるなら、まったく別ものとなるのです。

誰でも望めば自分をクリスチャンと言うことができます。しかし神の霊が宿っている人だけがクリスチャンなのです。神の霊なしにクリスチャンと称する人は、神に見放されたもの。その人は神のものではありません。アーメン

ハイブリッド宗教

この前、ある女性にクリスチャンかと尋ねたところ、「わかっていただけますでしょうか？わたしは毎晩キャンドルを灯していますのよ。」と、答えが返ってきました。それがクリスチャンと何の関係があるのでしょうか！？わたしはメソジスト、わたしはバプテスト、わたしはペンテコステ……それらはクリスチャンと全く関係ありません。聖霊と関係のない人は滅びます。

すでにエフェソの教会時代から、人々は教会をいかにして「よりよく」できるか考え始めました。そこでニコライ派が行動を開始し、グループを形成しました。彼ら

は神のことばから次第に離れていったのです。ただ一つのことばを変更するという行為が、実は、小さなパン種が練り粉全体を膨らませるように、大きな影響をもたらします。律法の一つを犯すなら、律法全体を犯したことになると言われていたりおりました。イヴはひとことを変えてしまっただけでしたが、その影響は大きいのです。

サタンを中心にしたグループが結成されると、侵略者である彼らは、自分たちの方が神の教会だと主張して、真の信者たちを迫害し始めました。

このように、人々が組織を作ると、そこに憎しみが入り込むのです。組織は仲間同士の親交を失わせ、苦々しさを生じさせます。ミルラはそれを示唆していました。そしてスミルナの時代にはそれが充満していました。苦々しさ。苦さの根が多く、心を侵食していき、教会は冒涇されました。それ以降の時代は、ずっとこの傷跡の痛みを味わうことになりました。

スミルナの教会は、起源から遠く離れていきました。雑種(ハイブリッド)となってしまったのです。イヴが人類にもたらしたように、教会も雑種になりました。雑種とは、異なるふたつの種が混ざることです。もはや原種の純粋さがありません。イヴは獣の種と交わりをもち、

は神のことばから次第に離れていったのです。ただ一つのことばを変更するという行為が、実は、小さなパン種が練り粉全体を膨らませるように、大きな影響をもたらします。律法の一つを犯すなら、律法全体を犯したことになると言われていたりおりました。イヴはひとことを変えてしまっただけでしたが、その影響は大きいのです。

サタンを中心にしたグループが結成されると、侵略者である彼らは、自分たちの方が神の教会だと主張して、真の信者たちを迫害し始めました。

このように、人々が組織を作ると、そこに憎しみが入り込むのです。組織は仲間同士の親交を失わせ、苦々しさを生じさせます。ミルラはそれを示唆していました。そしてスミルナの時代にはそれが充満していました。苦々しさ。苦さの根が多く、心を侵食していき、教会は冒涇されました。それ以降の時代は、ずっとこの傷跡の痛みを味わうことになりました。

スミルナの教会は、起源から遠く離れていきました。雑種(ハイブリッド)となってしまったのです。イヴが人類にもたらしたように、教会も雑種になりました。雑種とは、異なるふたつの種が混ざることです。もはや原種の純粋さがありません。イヴは獣の種と交わりをもち、

は、ただイエスのもとに行くのです。

なぜそうなるのでしょうか? たとえで説明しましょう。わたしには、ヨセフという息子がいます。何があっても彼はわたしの身内であることに変わりはありません。もしわたしが金持ちだったら、最悪、彼の相続権を排除するかもしれませんが、彼自身を否定することはできません。彼がわたしの血肉だからです。血液検査をしても、血液が一致して、ヨセフがわたしの息子であることが証明されるでしょう。彼はわたしのものです。

血液検査をすれば、あなたが神のものかどうかわかります。

かつてわたしはコロラド州で、ヒアフォードの純血種の牛の群れを、馬に乗って駆り立てていたことがあります。政府の牧場で草を食ませるためには、これらの牛たちを検査に連れていかなければなりません。検査官は、血統を証明するタグが耳に付いていないものは一頭も許可しませんでした。タグは純粋種の証明でした。検査官には牛の銘柄はどうでもよく、ただ耳のタグを調べて血統が正しいかどうかチェックしました。ハレルヤ!もし血が正しいのなら、それで十分なのです。

は、ただイエスのもとに行くのです。

なぜそうなるのでしょうか? たとえで説明しましょう。わたしには、ヨセフという息子がいます。何があっても彼はわたしの身内であることに変わりはありません。もしわたしが金持ちだったら、最悪、彼の相続権を排除するかもしれませんが、彼自身を否定することはできません。彼がわたしの血肉だからです。血液検査をしても、血液が一致して、ヨセフがわたしの息子であることが証明されるでしょう。彼はわたしのものです。

血液検査をすれば、あなたが神のものかどうかわかります。

かつてわたしはコロラド州で、ヒアフォードの純血種の牛の群れを、馬に乗って駆り立てていたことがあります。政府の牧場で草を食ませるためには、これらの牛たちを検査に連れていかなければなりません。検査官は、血統を証明するタグが耳に付いていないものは一頭も許可しませんでした。タグは純粋種の証明でした。検査官には牛の銘柄はどうでもよく、ただ耳のタグを調べて血統が正しいかどうかチェックしました。ハレルヤ!もし血が正しいのなら、それで十分なのです。

しないでください。それらは存在すると信じています。ただ、どれだけ長く存在するかはわかりません。やがて取り去られます。黙示録 21:8 に、「これらの者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある」と記されています。しかし、本当の訳は、「分」ではなく「時」です。

ですから、邪悪な者は地獄(ハデスあるいは墓)に下り、そこから火の池に投げ込まれます。神から切り離されるのです。なんと恐ろしいことでしょう。

でも正しい者の場合は違います。恐れる必要はありません。神によって贖われているからです。神の懐で守られています。彼らは勝利者です。勝利者とは、イエスが油注がれた方、キリストであると信じる人です。

ではなぜ勝利者は難を逃れて永遠のいのちと至福の中に入ることができるのでしょうか。それはイエスが代価を支払って、わたしたちを罪から救い出してくださいましたからです。神と切り離されていたわたしたちの距離を埋め、以前は遠く離れていたのに、今はキリストの血によって神に近い者としてくださいました。

彼らはもはや、とがめられることはありません。火の池もありません。イエスがしっかりと守ってくださるので、誰も迷い定めることはありません。贖われたもの

しないでください。それらは存在すると信じています。ただ、どれだけ長く存在するかはわかりません。やがて取り去られます。黙示録 21:8 に、「これらの者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある」と記されています。しかし、本当の訳は、「分」ではなく「時」です。

ですから、邪悪な者は地獄(ハデスあるいは墓)に下り、そこから火の池に投げ込まれます。神から切り離されるのです。なんと恐ろしいことでしょう。

でも正しい者の場合は違います。恐れる必要はありません。神によって贖われているからです。神の懐で守られています。彼らは勝利者です。勝利者とは、イエスが油注がれた方、キリストであると信じる人です。

ではなぜ勝利者は難を逃れて永遠のいのちと至福の中に入ることができるのでしょうか。それはイエスが代価を支払って、わたしたちを罪から救い出してくださいましたからです。神と切り離されていたわたしたちの距離を埋め、以前は遠く離れていたのに、今はキリストの血によって神に近い者としてくださいました。

彼らはもはや、とがめられることはありません。火の池もありません。イエスがしっかりと守ってくださるので、誰も迷い定めることはありません。贖われたもの

カインという生きものを生み出しました。カインは純粋なひとではなく、邪悪を潜ませていました。彼はアベルとも、セトとも異なっていて、神を憎み、みことばに逆らい、正しいひとを殺害しました。そして自分は神のことばを超越しているとみなしたのでした。

同様に、教会も誕生当時の教会ではもはやなく、雑種になり果てました。教会とは名ばかりで、雑種です。人は言います、「わたしはバプテストです」と。でも、初めはそうではありませんでした。「わたしはメソジストです」。でも、初めはそうではありませんでした。初めは神のことばが直接語られ、聖霊に満ちた人々が霊の啓示に従っていました。でも、もはやそうではありません。教義や、人の掟や、教養のある人々の威厳ある推測がまかり通るようになってしまいました。教育が霊の啓示にとって代わり、理性が信仰にとって代わりました。もはや聖霊に満ちた自然な賛美が消え、形式的なものになってしまいました。初めはそうではなかったのです。悪貨は正貨を駆逐する、そう、教会は雑種になってしまったのです。

それでは、雑種となってしまった教会から純粋なクリスチャンは生まれるでしょうか? いいえ、不可能です。クリスチャンを生み出すいのちや種は、そのような教会

カインという生きものを生み出しました。カインは純粋なひとではなく、邪悪を潜ませていました。彼はアベルとも、セトとも異なっていて、神を憎み、みことばに逆らい、正しいひとを殺害しました。そして自分は神のことばを超越しているとみなしたのでした。

同様に、教会も誕生当時の教会ではもはやなく、雑種になり果てました。教会とは名ばかりで、雑種です。人は言います、「わたしはバプテストです」と。でも、初めはそうではありませんでした。「わたしはメソジストです」。でも、初めはそうではありませんでした。初めは神のことばが直接語られ、聖霊に満ちた人々が霊の啓示に従っていました。でも、もはやそうではありません。教義や、人の掟や、教養のある人々の威厳ある推測がまかり通るようになってしまいました。教育が霊の啓示にとって代わり、理性が信仰にとって代わりました。もはや聖霊に満ちた自然な賛美が消え、形式的なものになってしまいました。初めはそうではなかったのです。悪貨は正貨を駆逐する、そう、教会は雑種になってしまったのです。

それでは、雑種となってしまった教会から純粋なクリスチャンは生まれるでしょうか? いいえ、不可能です。クリスチャンを生み出すいのちや種は、そのような教会

には存在しません。同類のものが生じるのみです。バプテスト教会はバプテスト信者を生み出し、バプテストとして行動します。メソジスト教会はメソジスト信者を生み出し、メソジストとして行動します。そこには神の力が働いていないので、誰も神の力を知らず、得ることもできません。ただ、典礼としての礼拝と信条と教義がその存在意義となっているのみです。

雑種について語りましょうか。世界中で最も知られた雑種は何でしょう？ それはずっと昔からわたしたちの生活に欠かせない動物です。そう、騾馬です。ロバと馬とのかけ合わせです。おもしろい生き物で、騾馬と騾馬をかけ合わせても騾馬は生まれません。自身にその種を持っていないからです。仕事をするとなると、馬やロバを凌駕しますが、その性格は頑迷で、信用がおけません。まさしく雑種信仰の典型です。馬が真の信者を表し、ロバが不義を表すとすると、騾馬は真理と暗闇のかけ合わせと言えます。真理と暗闇をかけ合わせると、不毛で形式的な宗教が出来上がります。繁殖可能な種が存在しません。死んでいます。真理について語ることはできても、真理を生み出すことはできません。神がおられないにもかかわらず、集会を開いて神について語りますが、実際に神の力が働くとは信じていません。主のみ名を唱えながら、神のみことばを否定している彼ら

には存在しません。同類のものが生じるのみです。バプテスト教会はバプテスト信者を生み出し、バプテストとして行動します。メソジスト教会はメソジスト信者を生み出し、メソジストとして行動します。そこには神の力が働いていないので、誰も神の力を知らず、得ることもできません。ただ、典礼としての礼拝と信条と教義がその存在意義となっているのみです。

雑種について語りましょうか。世界中で最も知られた雑種は何でしょう？ それはずっと昔からわたしたちの生活に欠かせない動物です。そう、騾馬です。ロバと馬とのかけ合わせです。おもしろい生き物で、騾馬と騾馬をかけ合わせても騾馬は生まれません。自身にその種を持っていないからです。仕事をするとなると、馬やロバを凌駕しますが、その性格は頑迷で、信用がおけません。まさしく雑種信仰の典型です。馬が真の信者を表し、ロバが不義を表すとすると、騾馬は真理と暗闇のかけ合わせと言えます。真理と暗闇をかけ合わせると、不毛で形式的な宗教が出来上がります。繁殖可能な種が存在しません。死んでいます。真理について語ることはできても、真理を生み出すことはできません。神がおられないにもかかわらず、集会を開いて神について語りますが、実際に神の力が働くとは信じていません。主のみ名を唱えながら、神のみことばを否定している彼ら

方、罪人は懲らしめを受けるので、第二の死とは懲らしめと場所のことだと。永遠のいのちは天国、永遠の懲らしめは地獄を意味するのだと。そういうことを信じる神学者が高く評価されてきたというのは驚くべきことです。しかし、そういうことを主張すると、永遠のいのちはひとりのひとを指すのではなく、場所的意味になってしまいます。永遠のいのちは神です。そうです、主イエスキリストです。どうして永遠のいのちを単に場所的存在に限定できるのでしょうか？ それを思うとめまいがしてきます。

はっきり言います。永遠のいのちはひとつだけです。それは神だけがもっておられます。もしわたしたちのうちに神がおられるなら、永遠のいのちは神と共に、神によって、わたしたちのうちに存在しています。

ですから、永遠という言葉にはいろいろな使われ方があるのです。神に対して用いられると、神は「わたしはある」のお方ですから、意味はひとつです。他の場合のような意味は、神には適用できません。神おひとりが永遠であり、神が生きておられるので、わたしたちも神とともに生きるのです。

わたしが火の池や懲らしめを信じていないと誤解

方、罪人は懲らしめを受けるので、第二の死とは懲らしめと場所のことだと。永遠のいのちは天国、永遠の懲らしめは地獄を意味するのだと。そういうことを信じる神学者が高く評価されてきたというのは驚くべきことです。しかし、そういうことを主張すると、永遠のいのちはひとりのひとを指すのではなく、場所的意味になってしまいます。永遠のいのちは神です。そうです、主イエスキリストです。どうして永遠のいのちを単に場所的存在に限定できるのでしょうか？ それを思うとめまいがしてきます。

はっきり言います。永遠のいのちはひとつだけです。それは神だけがもっておられます。もしわたしたちのうちに神がおられるなら、永遠のいのちは神と共に、神によって、わたしたちのうちに存在しています。

ですから、永遠という言葉にはいろいろな使われ方があるのです。神に対して用いられると、神は「わたしはある」のお方ですから、意味はひとつです。他の場合のような意味は、神には適用できません。神おひとりが永遠であり、神が生きておられるので、わたしたちも神とともに生きるのです。

わたしが火の池や懲らしめを信じていないと誤解

とです。終止符を打つのです。

それでは、今まで教えられてきたようには永遠という言葉が使えないのなら、どんなときに「永遠」という言葉を使えるのでしょうか。それは簡単です。神に対して用いられる「永遠」は、始まりがなく終わりがなく、未来永劫、常にあり続けるということを意味します。永遠のいのちというとき、それは神のいのちを暗に指しています。「神が永遠のいのちをわたしたちにくださり、そのいのちは御子のうちにあるのです。御子を得るものはそのいのちを得ています。」と記録されています。ならば、神の子たちだけが、終わりのない永遠のいのちを持っていることになるのでしょうか？ そのとおり、あなたのうちには始まりもなく終わりもない永遠の何かが存在しています。それは神の霊です。それは神ご自身といえます。神のいのちです。

あなたがたが天国で喜びつつ生きつつけるように、もし罪人が地獄に落ち、そこで苦しみつつけるのだとしたら、罪人にもあなたに与えられているのと同じ永遠のいのちがあることになってしまいます。

ある人はこういうかもしれません。永遠のいのちとは、神の子たちの幸福と喜びの状態をさすのだと。一

とです。終止符を打つのです。

それでは、今まで教えられてきたようには永遠という言葉が使えないのなら、どんなときに「永遠」という言葉を使えるのでしょうか。それは簡単です。神に対して用いられる「永遠」は、始まりがなく終わりがなく、未来永劫、常にあり続けるということを意味します。永遠のいのちというとき、それは神のいのちを暗に指しています。「神が永遠のいのちをわたしたちにくださり、そのいのちは御子のうちにあるのです。御子を得るものはそのいのちを得ています。」と記録されています。ならば、神の子たちだけが、終わりのない永遠のいのちを持っていることになるのでしょうか？ そのとおり、あなたのうちには始まりもなく終わりもない永遠の何かが存在しています。それは神の霊です。それは神ご自身といえます。神のいのちです。

あなたがたが天国で喜びつつ生きつつけるように、もし罪人が地獄に落ち、そこで苦しみつつけるのだとしたら、罪人にもあなたに与えられているのと同じ永遠のいのちがあることになってしまいます。

ある人はこういうかもしれません。永遠のいのちとは、神の子たちの幸福と喜びの状態をさすのだと。一

に、希望はありません。組織化された集団からリバイバルが起こったことがありますか？ いいえ、一度もありません。組織化するといのちを失って、二度と生き返らないのです。旧約聖書にその例を見ることができます。

「ただし、ろばの初子はみな、羊で贖わなければならない。もし贖わないなら、その首を折らなければならない。あなたの子どもたちのうち、男の初子はみな、贖わなければならない。」

(出エジプト 13:13)

ロバの子は羊によって贖うことができます。あわれな罪びとは誰でも、イエス・キリストの犠牲の血によって贖われます。キリストを拒むなら、キリストも彼を拒みません。騾馬は贖われません。騾馬を贖うための血は存在しないのです。騾馬は教会組織を避けどころとし、ロバは血を避けどころとします。騾馬は繁殖可能な種を持っていませんが、ろばにはそれがあるのです。

数週間前のある記事を読みました。クリスチャンではなく、世俗のビジネスマンが書いた記事です。それには、「教会には、呆気にとられるし理解ができない。神学校は教授たちを抱えて神の言葉を教えているが、その

に、希望はありません。組織化された集団からリバイバルが起こったことがありますか？ いいえ、一度もありません。組織化するといのちを失って、二度と生き返らないのです。旧約聖書にその例を見ることができます。

「ただし、ろばの初子はみな、羊で贖わなければならない。もし贖わないなら、その首を折らなければならない。あなたの子どもたちのうち、男の初子はみな、贖わなければならない。」

(出エジプト 13:13)

ロバの子は羊によって贖うことができます。あわれな罪びとは誰でも、イエス・キリストの犠牲の血によって贖われます。キリストを拒むなら、キリストも彼を拒みません。騾馬は贖われません。騾馬を贖うための血は存在しないのです。騾馬は教会組織を避けどころとし、ロバは血を避けどころとします。騾馬は繁殖可能な種を持っていませんが、ろばにはそれがあるのです。

数週間前のある記事を読みました。クリスチャンではなく、世俗のビジネスマンが書いた記事です。それには、「教会には、呆気にとられるし理解ができない。神学校は教授たちを抱えて神の言葉を教えているが、その

実それを破壊している」と、書いてありました。この著者は、「理解できなくて啞然とした。無神論者や共産党員や自由主義者なら話はわかるが、教会自らが神のことは破壊しているとなると、これは計画殺人に等しい」と述べています。さあ、これが雑種(ハイブリッド)の宗教です。アメリカよ、手遅れになる前に目を覚ませ!

一旦神のことは離れた教会はなんでも信じるようになります。イブもそうでした。カインが生まれた時、イブは、「わたしは主によって一人の男子を得た」と言いました。それは真実でしょうか? 主から男子を得たと、そう思ってしまったのです。神のことは代わりにサタンの言葉を受け入れて騙されたイブは、自分の言うことは正しいと思い込んでしまいました。だから、神から男子を得たと、そう言えば、そのとおりになると思ったのです。しかし神はすでに法則を作り、宇宙全体に適用しておいででした。良い種は良い実をつけ、悪い種は悪い実を結ぶのが神の法則です。それぞれの種は大地を利用してそこから栄養と水分を受け、日光を浴び育ちます。そしてそれぞれがその種に従った実をつけます。カインの子孫とセトの子孫の行く末を比べてみましょう。ただ一つの違いが行く末を決めるのです。それは他ならぬ「起源となる種」です。

実それを破壊している」と、書いてありました。この著者は、「理解できなくて啞然とした。無神論者や共産党員や自由主義者なら話はわかるが、教会自らが神のことは破壊しているとなると、これは計画殺人に等しい」と述べています。さあ、これが雑種(ハイブリッド)の宗教です。アメリカよ、手遅れになる前に目を覚ませ!

一旦神のことは離れた教会はなんでも信じるようになります。イブもそうでした。カインが生まれた時、イブは、「わたしは主によって一人の男子を得た」と言いました。それは真実でしょうか? 主から男子を得たと、そう思ってしまったのです。神のことは代わりにサタンの言葉を受け入れて騙されたイブは、自分の言うことは正しいと思い込んでしまいました。だから、神から男子を得たと、そう言えば、そのとおりになると思ったのです。しかし神はすでに法則を作り、宇宙全体に適用しておいででした。良い種は良い実をつけ、悪い種は悪い実を結ぶのが神の法則です。それぞれの種は大地を利用してそこから栄養と水分を受け、日光を浴び育ちます。そしてそれぞれがその種に従った実をつけます。カインの子孫とセトの子孫の行く末を比べてみましょう。ただ一つの違いが行く末を決めるのです。それは他ならぬ「起源となる種」です。

遠に神の祭司としていけにえを捧げることはできない、』とあります。それから1列王記 2:27 で、ソロモンはエリの子孫を祭司職から罷免しました。それは神のことは語られてから、4世代かそれ以降の出来事でした。ここで使われている永遠という言葉は、永久、あるいは始まりがなく終わりが無い恒常の状態とは違うのです。この場合の永遠は、「消滅するまで」と期限があります。彼らは消滅したのです。

第二テサロニケ 1:9 の「破壊」という言葉を見てください。

「そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。」

この「滅び」という言葉に注目してください。ギリシャ語では、単に消滅という意味です。したがって、この「滅び」という言葉は、滅ぼす、破壊するという意味ではありません。滅ぼすのには、朽ち果てていくまでに過程があります。では、永遠の消滅とはどういう意味でしょう。消滅し続けるという意味ではありません。その場合は滅びという言葉より、破壊という言葉がふさわしいでしょう。そうではなく、到達点に至るまで滅ぼすというこ

遠に神の祭司としていけにえを捧げることはできない、』とあります。それから1列王記 2:27 で、ソロモンはエリの子孫を祭司職から罷免しました。それは神のことは語られてから、4世代かそれ以降の出来事でした。ここで使われている永遠という言葉は、永久、あるいは始まりがなく終わりが無い恒常の状態とは違うのです。この場合の永遠は、「消滅するまで」と期限があります。彼らは消滅したのです。

第二テサロニケ 1:9 の「破壊」という言葉を見てください。

「そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。」

この「滅び」という言葉に注目してください。ギリシャ語では、単に消滅という意味です。したがって、この「滅び」という言葉は、滅ぼす、破壊するという意味ではありません。滅ぼすのには、朽ち果てていくまでに過程があります。では、永遠の消滅とはどういう意味でしょう。消滅し続けるという意味ではありません。その場合は滅びという言葉より、破壊という言葉がふさわしいでしょう。そうではなく、到達点に至るまで滅ぼすというこ

わたしたちに害を与えることはありません。

第二の死が火の池であることはご存知ですね。

「それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第2の死である。」

(黙示録 20:14)

ですから死とハデスの中にいた人たちはみな、火の池に投げ込まれたのです。さて、わたしがこれから申し上げることは、聞いたことのない教えとして物議をかもし出すことでしょう。しかし、神のみことばの権威によって、宣言します。不信者が永遠の地獄に落ち、永遠に焼かれ続けることはありません。まず、地獄とか火の池とか、そういうものは永遠に存在し続けません。始まりのあるものには終わりがあるのです。マタイ 25:41 に、「悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火」と記されています。用意されたのなら、始まりの時点があるのです。始まりがあるのなら永遠ではありません。「永遠」という言葉にひっかかるかもしれませんが、その言葉の意味は「ある時代からある時代まで」であり、別の意味を含んでいるのです。1サムエル 3:13-14 によると、『神はエリの家を永遠にさばく、エリの家のもは永

わたしたちに害を与えることはありません。

第二の死が火の池であることはご存知ですね。

「それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第2の死である。」

(黙示録 20:14)

ですから死とハデスの中にいた人たちはみな、火の池に投げ込まれたのです。さて、わたしがこれから申し上げることは、聞いたことのない教えとして物議をかもし出すことでしょう。しかし、神のみことばの権威によって、宣言します。不信者が永遠の地獄に落ち、永遠に焼かれ続けることはありません。まず、地獄とか火の池とか、そういうものは永遠に存在し続けません。始まりのあるものには終わりがあるのです。マタイ 25:41 に、「悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火」と記されています。用意されたのなら、始まりの時点があるのです。始まりがあるのなら永遠ではありません。「永遠」という言葉にひっかかるかもしれませんが、その言葉の意味は「ある時代からある時代まで」であり、別の意味を含んでいるのです。1サムエル 3:13-14 によると、『神はエリの家を永遠にさばく、エリの家のもは永

イブの言ったことを分析すると、彼女が意外と深く真理を把握していたことがわかります。というのは、息子をサタンに帰していなかったからです。そうなら、サタンを神と対等の立場に置くことになります。しかし実際は、神のみがイブやマリアの胎内に卵子を造ることができます。サタンにはできません。イブにはそれがわかっていました。サタンにできるのは、ただ、誤った道に陥らせることだけ。だからサタンは彼女を欺いて、誤った種を植えたのです。蛇の種からカインは生まれたのでした。そしてアダムの種からアベルとセトは生まれました。どちらの種も同じ過程をたどり形成されましたが、生まれた子どもたちは別ものでした。種が異なっていたからです。

イブはカインが神からのものと信じていました。悪魔の偽りを神の真理として受け入れてしまったからです。まさに同じくして、真理の源泉として立ち上がった教会の中に、もはや真理が存在していません。それでも教会の子らは虚ろな真理を宣言し、自分たちの嘘を守るために人殺しさえするようになるのです。

もしこれが誇張だと思うなら、第2テモテの第3章全体と第4章の最初の5節を読んでください。

イブの言ったことを分析すると、彼女が意外と深く真理を把握していたことがわかります。というのは、息子をサタンに帰していなかったからです。そうなら、サタンを神と対等の立場に置くことになります。しかし実際は、神のみがイブやマリアの胎内に卵子を造ることができます。サタンにはできません。イブにはそれがわかっていました。サタンにできるのは、ただ、誤った道に陥らせることだけ。だからサタンは彼女を欺いて、誤った種を植えたのです。蛇の種からカインは生まれたのでした。そしてアダムの種からアベルとセトは生まれました。どちらの種も同じ過程をたどり形成されましたが、生まれた子どもたちは別ものでした。種が異なっていたからです。

イブはカインが神からのものと信じていました。悪魔の偽りを神の真理として受け入れてしまったからです。まさに同じくして、真理の源泉として立ち上がった教会の中に、もはや真理が存在していません。それでも教会の子らは虚ろな真理を宣言し、自分たちの嘘を守るために人殺しさえするようになるのです。

もしこれが誇張だと思うなら、第2テモテの第3章全体と第4章の最初の5節を読んでください。

「それゆえ、私は神と主イエス・キリストの御前であなたに命じます。御言葉を説きなさい。季節外れでも季節外れでも構いません。すべての辛抱強さと教義をもって、叱責し、叱責し、勧めなさい。彼らが健全な教義に耐えられなくなる時が来るからです。しかし、自分の欲望の後で、彼らは自分自身に教師を積み上げ、耳がかゆくなります。そして彼らは真実から耳をそむけ、作り話に変わる。

しかし、あなたはすべてのことに気をつけ、苦難に耐え、伝道者の仕事をし、あなたの使命を十分に証明してください。」

(2 テモテ 4:1-5)

アダムとイブが陥ったように、教会も起源からはずれて行ったときに、死が入り込みました。

生きる力が失せた教会は、化け物のようになりました。教会は形式と典礼を重んじるようになり、聖職者の制度をつくり、聖霊とみことばの導きから離れ去りました。するとその瞬間に死が入り込み、病いに冒されました。病いが進むにつれ、論争が武器という無力な人々

「それゆえ、私は神と主イエス・キリストの御前であなたに命じます。御言葉を説きなさい。季節外れでも季節外れでも構いません。すべての辛抱強さと教義をもって、叱責し、叱責し、勧めなさい。彼らが健全な教義に耐えられなくなる時が来るからです。しかし、自分の欲望の後で、彼らは自分自身に教師を積み上げ、耳がかゆくなります。そして彼らは真実から耳をそむけ、作り話に変わる。

しかし、あなたはすべてのことに気をつけ、苦難に耐え、伝道者の仕事をし、あなたの使命を十分に証明してください。」

(2 テモテ 4:1-5)

アダムとイブが陥ったように、教会も起源からはずれて行ったときに、死が入り込みました。

生きる力が失せた教会は、化け物のようになりました。教会は形式と典礼を重んじるようになり、聖職者の制度をつくり、聖霊とみことばの導きから離れ去りました。するとその瞬間に死が入り込み、病いに冒されました。病いが進むにつれ、論争が武器という無力な人々

ないばかりか、良いことをしようとしますが、洗礼者ヨハネがヘロデから受けた仕打ちのように、懲らしめられてしまいます。ヘロデと妻に対して、ヨハネには悪意がなく、ただ神の怒りから救われるよう願ったのです。しかし誤解され反対され、ヨハネは処刑されてしまいました。神の人たちは善を行っているのにかかわらず、嘲られ、処刑されます。善に対して邪悪で報いる良心のかけらもない人々の背後に、邪悪な力が働いているのはいまでもありません。そのような力が存在しているのです。それはサタンです。

地獄は永遠ではない

勝利を得るものへの報酬

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。@@勝利を得る者は、決して第二の死によって損なわれることはない。」

(黙示録 2:11)

もう一度言いますが、霊が語られていることはすべての時代に適応されるのです。ですから、このメッセージはわたしたちへの励ましでもあります。第二の死は、

ないばかりか、良いことをしようとしますが、洗礼者ヨハネがヘロデから受けた仕打ちのように、懲らしめられてしまいます。ヘロデと妻に対して、ヨハネには悪意がなく、ただ神の怒りから救われるよう願ったのです。しかし誤解され反対され、ヨハネは処刑されてしまいました。神の人たちは善を行っているのにかかわらず、嘲られ、処刑されます。善に対して邪悪で報いる良心のかけらもない人々の背後に、邪悪な力が働いているのはいまでもありません。そのような力が存在しているのです。それはサタンです。

地獄は永遠ではない

勝利を得るものへの報酬

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。@@勝利を得る者は、決して第二の死によって損なわれることはない。」

(黙示録 2:11)

もう一度言いますが、霊が語られていることはすべての時代に適応されるのです。ですから、このメッセージはわたしたちへの励ましでもあります。第二の死は、

家庭や古い倉庫や地下室で礼拝をします。かつて先祖たちがカタコンベに潜んだように。

これらの人々は世間の目から見れば貧しいですが、本当は霊的に豊かに富んでいるのです。

「わたしは彼らのののしりを知っている。」サタンのシナゴグの嘘つきたちが神を冒瀆しているというのは思想上のことではなく、実際に彼らは真の教会をののしっていました。同じことが繰り返されています。エルサレムのユダヤ人たちは初期教会をののしりました。多神教の異邦人も同様のことをしました。もし誰かが誹謗中傷を受けるなら、それは正統な子孫です。ネロの時代、クリスチャンはあらゆる災害の張本人とみなされ、ローマの大火災の放火犯とさえ言われたのです。共産主義国で、一番先に処刑されるのは、取るに足りない数の小さな群れです。クリスチャンは善を行うことだけを心がける善良で誠実な人々ですが、最後まで迫害を受けつづけるでしょう。殉教もあるかもしれません。

クリスチャンの小さな群れの存在は、悪者にとって目障りだというのが、その理由です。邪悪なものにとって、彼らはどうしても鼻につく存在になってしまうのです。正しいものたちは邪悪なものたちに何の危害も加え

家庭や古い倉庫や地下室で礼拝をします。かつて先祖たちがカタコンベに潜んだように。

これらの人々は世間の目から見れば貧しいですが、本当は霊的に豊かに富んでいるのです。

「わたしは彼らのののしりを知っている。」サタンのシナゴグの嘘つきたちが神を冒瀆しているというのは思想上のことではなく、実際に彼らは真の教会をののしっていました。同じことが繰り返されています。エルサレムのユダヤ人たちは初期教会をののしりました。多神教の異邦人も同様のことをしました。もし誰かが誹謗中傷を受けるなら、それは正統な子孫です。ネロの時代、クリスチャンはあらゆる災害の張本人とみなされ、ローマの大火災の放火犯とさえ言われたのです。共産主義国で、一番先に処刑されるのは、取るに足りない数の小さな群れです。クリスチャンは善を行うことだけを心がける善良で誠実な人々ですが、最後まで迫害を受けつづけるでしょう。殉教もあるかもしれません。

クリスチャンの小さな群れの存在は、悪者にとって目障りだというのが、その理由です。邪悪なものにとって、彼らはどうしても鼻につく存在になってしまうのです。正しいものたちは邪悪なものたちに何の危害も加え

の集まりになってしまい、霊の実りは無くなってしまいました。神のことばの中に希望をおくのではなく、企画内容に希望をおくようになった教会は、計画を立てて新たな企画を得ることを繰り返すのみ。彼らは神のことばから逸脱した行動をとり、神のことばからかけ離れた子どもたちを収穫するようになりました。

神のなさることに不当な干渉をすると、改ざんの後始末をしなければならなくなります。自然がそのことを教えてくれます。人は自然に手を加えます。人は自然を改良できると考えて、物質の分子を改造したりしますが、その結果自然からの罰を受けます。鶏の例を見てみましょう。鶏は改良に改良を重ねた結果、卵(無精)を産む機械となってしまいました。鶏肉は柔らかくてまずくて、健全な食品ではなくなりました。食肉に添加物が入られるようになった結果、人体にも変化が起こってきました。女性は腰が小さくなり、肩幅が広くなりました。逆に男性は腰が大きくなり、肩幅が狭くなりました。さて、人が自然を侮ることによって、異常現象が引き起こされるならば、真理に手を加えて虚偽を混ぜたなら、どうなることでしょうか。その結果生み出されるのは反キリストであり、神不在の形式的宗教です。教会は誕生当時の状態から、はるかかけ離れてしまいました。これに対処できるのは唯一、火の池、それを神は用意して

の集まりになってしまい、霊の実りは無くなってしまいました。神のことばの中に希望をおくのではなく、企画内容に希望をおくようになった教会は、計画を立てて新たな企画を得ることを繰り返すのみ。彼らは神のことばから逸脱した行動をとり、神のことばからかけ離れた子どもたちを収穫するようになりました。

神のなさることに不当な干渉をすると、改ざんの後始末をしなければならなくなります。自然がそのことを教えてくれます。人は自然に手を加えます。人は自然を改良できると考えて、物質の分子を改造したりしますが、その結果自然からの罰を受けます。鶏の例を見てみましょう。鶏は改良に改良を重ねた結果、卵(無精)を産む機械となってしまいました。鶏肉は柔らかくてまずくて、健全な食品ではなくなりました。食肉に添加物が入られるようになった結果、人体にも変化が起こってきました。女性は腰が小さくなり、肩幅が広くなりました。逆に男性は腰が大きくなり、肩幅が狭くなりました。さて、人が自然を侮ることによって、異常現象が引き起こされるならば、真理に手を加えて虚偽を混ぜたなら、どうなることでしょうか。その結果生み出されるのは反キリストであり、神不在の形式的宗教です。教会は誕生当時の状態から、はるかかけ離れてしまいました。これに対処できるのは唯一、火の池、それを神は用意して

おられます。

リバイバルは決して来ることはない

あわれ、スミルナの時代は死にかけていました。そして死んでしまったあとは、もう元には戻りませんでした。元に戻ることができた時代はありません。リバイバルが終わると、同じ場所で再びリバイバルが起こることはありませんでした。自然に生まれた者は神のいのちを持っていないので、天の介入によって生まれ変わる必要があります。この最後の時代(ラオデキア)は聖霊降臨のリバイバルによって始まりましたが、次第に組織化していきました。神のことばに従う代わりに、自分たちの考えを採用し、他のすべての時代と同じことをしました。生きたみことばに従うはずのところを、人の書いた手引にすり替えたのです。もしあなたが人の手引書に従わなかったらどうなるでしょう？ 追い出されて、神のみ名を用いて迫害されてしまうでしょう。教会が神より組織を大事にしているからです。彼らは聖霊降臨を体験した世代の次の世代の者たちですから、直接体験したわけではありません。神には孫はいませんから、彼らは信条や典礼をつくった父たちの子どもたちなのです。昔のことについて語ることはできますが、再現させることはできません。かつては閃(ひらめ)きがありましたが、もう轟(と

おられます。

リバイバルは決して来ることはない

あわれ、スミルナの時代は死にかけていました。そして死んでしまったあとは、もう元には戻りませんでした。元に戻ることができた時代はありません。リバイバルが終わると、同じ場所で再びリバイバルが起こることはありませんでした。自然に生まれた者は神のいのちを持っていないので、天の介入によって生まれ変わる必要があります。この最後の時代(ラオデキア)は聖霊降臨のリバイバルによって始まりましたが、次第に組織化していきました。神のことばに従う代わりに、自分たちの考えを採用し、他のすべての時代と同じことをしました。生きたみことばに従うはずのところを、人の書いた手引にすり替えたのです。もしあなたが人の手引書に従わなかったらどうなるでしょう？ 追い出されて、神のみ名を用いて迫害されてしまうでしょう。教会が神より組織を大事にしているからです。彼らは聖霊降臨を体験した世代の次の世代の者たちですから、直接体験したわけではありません。神には孫はいませんから、彼らは信条や典礼をつくった父たちの子どもたちなのです。昔のことについて語ることはできますが、再現させることはできません。かつては閃(ひらめ)きがありましたが、もう轟(と

得ません。

教会にいる長老たち

これは記録に残していただきたい。わたしは教会の長老を批判していません。とんでもない誤解です。長老はとても貧しい生活をしているかもしれないし、あるいは、心底長老であって行いも正しければ、世界の長者番付に乗るかもしれません。わたしなら、経済状態や社会的地位とはまったく関係なく、霊的資質がある人なら誰でも長老や執事として任命するでしょう。しかし教会に経済的社会的構造が入り込むと、格差の問題がおき、分裂してしまいます。神のせいではありません。物質的には豊かであっても霊的に困窮している、これが今の時代、ラオデキアの時代のもうひとつのしるしです。

「わたしはあなたの貧しさを知っている。」彼らの貧しさとサタンのシナゴグが同じ節の中に記されています。お互いに関係しているのです。常に、富と力のある組織は、神に仕える少数の人々に圧力をかけます。神の霊が人の心に働きかける時、場所や建物から離れていくのは誰ですか？ 常に小さな群れが大きな組織に追い出されるのです。そしてどこに行くかという、彼らは

得ません。

教会にいる長老たち

これは記録に残していただきたい。わたしは教会の長老を批判していません。とんでもない誤解です。長老はとても貧しい生活をしているかもしれないし、あるいは、心底長老であって行いも正しければ、世界の長者番付に乗るかもしれません。わたしなら、経済状態や社会的地位とはまったく関係なく、霊的資質がある人なら誰でも長老や執事として任命するでしょう。しかし教会に経済的社会的構造が入り込むと、格差の問題がおき、分裂してしまいます。神のせいではありません。物質的には豊かであっても霊的に困窮している、これが今の時代、ラオデキアの時代のもうひとつのしるしです。

「わたしはあなたの貧しさを知っている。」彼らの貧しさとサタンのシナゴグが同じ節の中に記されています。お互いに関係しているのです。常に、富と力のある組織は、神に仕える少数の人々に圧力をかけます。神の霊が人の心に働きかける時、場所や建物から離れていくのは誰ですか？ 常に小さな群れが大きな組織に追い出されるのです。そしてどこに行くかという、彼らは

告していますが、それは的を得ていません。人の考えや企画や王国が終焉し、神の王国が到来することを布告しているというのが真実です。さあ、神の民よ、目をさましなさい!目をさましなさい!

もしこれが真実でないというなら、聞いてください。世界中で今、ペンテコステ派とファンダメンタルのグループがビジネスマンを組織化しています。彼らは神の召命なしに説教をし、あたかも人を漁る漁師、あるいは神の運動の創始者であるように働いています。神が教会に委ねた奉仕の働き(エフェソ4:10-13参照)は役に立たないので、自分たちがその役を引き受けているのだと言っています。わたしたちは、コラの反抗という預言の成就の真っ只中にいます。彼らは自分たちが預言の成就に役立っていることがわかっていません。盲目状態で説教を続けています。神が彼らを憐れんでくださいますように。手遅れになる前に目が開きますように。聞いてください!いつから金の威信や社会での指導的立場や商売の天分や精神の強靱さが霊的指導者の必要資質になったのか。神のことばを伝えるのにそれらは重要なのか。もし、唯一聖霊の働きによっていたのが、とって変わって物質や人の値打ちによって神が働かれるようになってきたというのなら、それならば、神のために働いているのではなく、神と敵対しているのだと言わざるを

告していますが、それは的を得ていません。人の考えや企画や王国が終焉し、神の王国が到来することを布告しているというのが真実です。さあ、神の民よ、目をさましなさい!目をさましなさい!

もしこれが真実でないというなら、聞いてください。世界中で今、ペンテコステ派とファンダメンタルのグループがビジネスマンを組織化しています。彼らは神の召命なしに説教をし、あたかも人を漁る漁師、あるいは神の運動の創始者であるように働いています。神が教会に委ねた奉仕の働き(エフェソ4:10-13参照)は役に立たないので、自分たちがその役を引き受けているのだと言っています。わたしたちは、コラの反抗という預言の成就の真っ只中にいます。彼らは自分たちが預言の成就に役立っていることがわかっていません。盲目状態で説教を続けています。神が彼らを憐れんでくださいますように。手遅れになる前に目が開きますように。聞いてください!いつから金の威信や社会での指導的立場や商売の天分や精神の強靱さが霊的指導者の必要資質になったのか。神のことばを伝えるのにそれらは重要なのか。もし、唯一聖霊の働きによっていたのが、とって変わって物質や人の値打ちによって神が働かれるようになってきたというのなら、それならば、神のために働いているのではなく、神と敵対しているのだと言わざるを

どろき)しか残っていません。

彼らの言い分を聞いてみましょうか。「ええ、そうです、この働きは人間が始めたものではないのです。突然、霊が世界中に降り注ぎました。そうです、わたしたちは聖霊降臨の時に与えられたものをいただいているのです。これは人の手によるのではなく、神から来たのです。」では、なぜ神の働かれるままに任せなかったのでしょうか? もし神が始められたのなら、なぜ神はそれを維持し、仕上げることができなかったのでしょうか? そもそも神が信条や典礼や教義の教本を書かれなかったのなら、どんな権利があつてそのようなことをしたのでしょうか?

パプテスト、メソジスト、ナザレ派、アドベンティスト、長老派、ブレスレン、チャーチオブゴッドなどなど、各教団教派の上にも、神は聖霊を注がれました。それらに属する兄弟姉妹たちは、それぞれの教義や掟や教会の教本によって養育されて来ましたが、神はすべてを一掃されました。神は聖霊の賜物を復活され、彼らの神学を虚しいものとししました。神が過去、現在、未来永劫に変わらぬお方であることを自ら立証されたのです。しかし、聖霊降臨のリバイバルから生まれたペンテコステの人たちは、組織化することの恐ろしさを過去から学んだでしょうか? いいえ、残念ながら。彼らもまた組織化

どろき)しか残っていません。

彼らの言い分を聞いてみましょうか。「ええ、そうです、この働きは人間が始めたものではないのです。突然、霊が世界中に降り注ぎました。そうです、わたしたちは聖霊降臨の時に与えられたものをいただいているのです。これは人の手によるのではなく、神から来たのです。」では、なぜ神の働かれるままに任せなかったのでしょうか? もし神が始められたのなら、なぜ神はそれを維持し、仕上げることができなかったのでしょうか? そもそも神が信条や典礼や教義の教本を書かれなかったのなら、どんな権利があつてそのようなことをしたのでしょうか?

パプテスト、メソジスト、ナザレ派、アドベンティスト、長老派、ブレスレン、チャーチオブゴッドなどなど、各教団教派の上にも、神は聖霊を注がれました。それらに属する兄弟姉妹たちは、それぞれの教義や掟や教会の教本によって養育されて来ましたが、神はすべてを一掃されました。神は聖霊の賜物を復活され、彼らの神学を虚しいものとししました。神が過去、現在、未来永劫に変わらぬお方であることを自ら立証されたのです。しかし、聖霊降臨のリバイバルから生まれたペンテコステの人たちは、組織化することの恐ろしさを過去から学んだでしょうか? いいえ、残念ながら。彼らもまた組織化

し、独自の教本を作り、掟を作り、教会冊子や親睦冊子などを作りました。その主張するところは、ペンテコステだけが真理であり、すべての問題の解決であり、神の選びである。神から任命されて人々を真理の道に導いているのだということです。しかし彼らの中には真理はないのです。抜け出して来た元の組織と同じように彼らも雑種となってしまいました。もし、キリストの花嫁になりたいのなら、初期教会の信徒たちがしたように、組織から離れるべきでした。

リバイバルは終わりました。彼らも過去の教会の過ちを繰り返し、名ばかりの死んだものとなってしまいました。神の霊について語りながらも組織化の道を選んだのです。聖霊の証(あかし)について語りますが、悪魔も異言を語るという事実を忘れていました。バベルの塔で起こった言語の混乱が、教会の中でも起こっていることがわからずに、それを聖霊の証だと言っています。神が人に命じるのではなく、人が神に命じているさまをここでも見ます。

ここまで言ったら、わたしに反論したくなるでしょうね。それなら、ペンテコステやフルゴスペルと称している人たちにうかがいます。聖霊降臨の時には火が雲の中から降りて来て、舌のように分かれてひとりひとりの上

し、独自の教本を作り、掟を作り、教会冊子や親睦冊子などを作りました。その主張するところは、ペンテコステだけが真理であり、すべての問題の解決であり、神の選びである。神から任命されて人々を真理の道に導いているのだということです。しかし彼らの中には真理はないのです。抜け出して来た元の組織と同じように彼らも雑種となってしまいました。もし、キリストの花嫁になりたいのなら、初期教会の信徒たちがしたように、組織から離れるべきでした。

リバイバルは終わりました。彼らも過去の教会の過ちを繰り返し、名ばかりの死んだものとなってしまいました。神の霊について語りながらも組織化の道を選んだのです。聖霊の証(あかし)について語りますが、悪魔も異言を語るという事実を忘れていました。バベルの塔で起こった言語の混乱が、教会の中でも起こっていることがわからずに、それを聖霊の証だと言っています。神が人に命じるのではなく、人が神に命じているさまをここでも見ます。

ここまで言ったら、わたしに反論したくなるでしょうね。それなら、ペンテコステやフルゴスペルと称している人たちにうかがいます。聖霊降臨の時には火が雲の中から降りて来て、舌のように分かれてひとりひとりの上

に留まりました。その火は今どこにありますか？ 聖霊降臨の時、彼らは異言を語り、それを聞いた人々は言葉の意味を理解しました。今それはどこにありますか？ 信者らはひとつの家族のようになって生活しました。なのにペンテコステの人たちはかつてないほど分裂しているではありませんか。初代教会には、誰も自分の考えで教会に属するような人はおらず、ただ神が人々を加えてくださっていました。今は多くの山羊が教会に混じっています。彼らはフルゴスペルを唱えています。それを立証することができません。彼らの教会には神の力が存在していません。もし彼らがフルゴスペルならば、聖書が間違っていると言わざるを得ません。聖霊降臨の時にフルゴスペルの人たちも加わっていたと聖書には書いてありますから。「わたしのうちに大きな変化が起こった」と彼らは歌いますが、それはもつともです。しかし、良い方向に変化したわけではありません。

今こそ神にたち帰る時です。彼らは生きていますと称しているが実は死んでいます。異言はリバイバルの証ではありません。それは死を証しているのです。異言は、ユダヤ人の儀式的宗教が終わり、新しい時代が訪れたと、宣言していたのです。そして今異言は、異邦人時代の幕が閉じ、福音がユダヤ人に戻っていくことを語っています。異言は著しい霊の働きであると、彼らは布

に留まりました。その火は今どこにありますか？ 聖霊降臨の時、彼らは異言を語り、それを聞いた人々は言葉の意味を理解しました。今それはどこにありますか？ 信者らはひとつの家族のようになって生活しました。なのにペンテコステの人たちはかつてないほど分裂しているではありませんか。初代教会には、誰も自分の考えで教会に属するような人はおらず、ただ神が人々を加えてくださっていました。今は多くの山羊が教会に混じっています。彼らはフルゴスペルを唱えています。それを立証することができません。彼らの教会には神の力が存在していません。もし彼らがフルゴスペルならば、聖書が間違っていると言わざるを得ません。聖霊降臨の時にフルゴスペルの人たちも加わっていたと聖書には書いてありますから。「わたしのうちに大きな変化が起こった」と彼らは歌いますが、それはもつともです。しかし、良い方向に変化したわけではありません。

今こそ神にたち帰る時です。彼らは生きていますと称しているが実は死んでいます。異言はリバイバルの証ではありません。それは死を証しているのです。異言は、ユダヤ人の儀式的宗教が終わり、新しい時代が訪れたと、宣言していたのです。そして今異言は、異邦人時代の幕が閉じ、福音がユダヤ人に戻っていくことを語っています。異言は著しい霊の働きであると、彼らは布